

小金井市行財政改革市民会議
「理念と方針」部会（第3回）次第

日時 令和3年2月15日（月）

午後7時00分から

場所 WEB会議（Webex Meetings）

1 これまでの議論を踏まえて

- （1）部会長まとめ
- （2）ワーク結果
- （3）議論の方向性

2 押さえない背景

- （1）危機的な財源不足
- （2）従来からの行革課題
- （3）人財活用の必要性
- （4）デジタル変革の動き
- （5）公共施設マネジメント

3 新型コロナウイルス感染拡大の影響

4 その他

※ 配付資料

事前配付・資料 「理念と方針」の「中間まとめ」に向けて

「理念と方針」の「中間まとめ」に向けて

1 これまでの議論と「中間まとめ」に向けて

- 方向性 「地域の魅力を高める」＋「住民福祉の持続的な増進」
- 切り口 ヒト／組織／計画・事業／仕組み／情報／地域など

	部会長まとめ	ワーク結果	議論の方向性
理念	コロナを見直しのチャンスに 「〇〇疲れ」「〇〇ない世界」脱却 市民は動くか。行政に期待しているか	明るい未来を示したい 体力に見合う事業を コミュニケーションを	元気の出る行財政改革 行革から自治体経営へ 経営戦略による人財経営
方針	ゴールを明確に！プロセスを大切に！ 評価の仕組みを見直して 改善プロセスへ 市民に頼りすぎ。ハブ的職員は何人？	職員を正しく評価 職員像を市民と共有 組織文化の中で育つ	取組のゴール明確化 必要なプロセスの内容 経営戦略の骨格・要素 人財の育成活用策
目標	経常収支比率以外の 適切な経営分析指標を	（経常収支比率・職員 数は不適切）	分析指標等の例 （経営戦略の達成度）

2 押さえない背景

- (1) 危機的な財源不足（人件費・扶助費等の増大、厳しい財政見通し等）
- (2) 従来からの行革課題（保育園等民営化、組織改革、受益者負担見直し等）
- (3) 人財活用の必要性（不足する経営資源、迫る世代交代、職員の意識改革）
- (4) デジタル変革の動き（国と都の動向、費用対効果、システム更新等）
- (5) 公共施設マネジメント（個別計画の策定、総量抑制、跡地利用等）

3 新型コロナウイルス感染拡大の影響

市民生活	地域	行財政	組織・職員